

## 今年、灯台150周年です

現在、全国にある灯台の始まりは、明治の初めに導入された洋式灯台にさかのぼります。

江戸末期、英・米・仏・蘭の4か国が、関門海峡を舞台に長州藩と戦った下関戦争の賠償の一環として、開港した各港への灯台の設置を約束させ、1番目に建設された灯台が、神奈川県横須賀市にある観音埼灯台です。

明治元年11月1日に、この観音埼灯台の建設を着手しており、この年を基点として、平成30年は、灯台の近代化150周年にあたります。

## 対馬の主な灯台

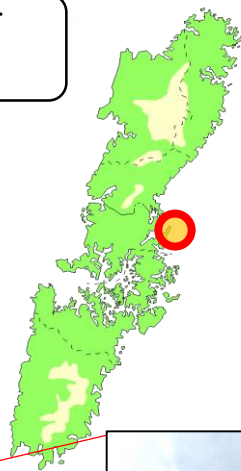
灯台150周年にあたり、対馬に設置されている主な灯台を毎月順番にご紹介します。

### その11 対馬長崎鼻灯台 対馬長崎鼻北東方照射灯

対馬長崎鼻灯台は、大漁湾茅湾の入口を示し、対馬海峡東水道を航行する船舶の重要な役割を果たしている灯台です。

また、対馬長崎鼻北方照射灯は、長崎鼻先端を明示するため、岩礁上先端の副標を照射しています。

対馬長崎鼻灯台・対馬長崎鼻北方照射灯  
(長崎県対馬市豊玉町)





LED灯器  
光の強さ：3,700カンデラ  
光の届く距離：約22キロメートル

照射灯  
光の強さ：1,900,000カンデラ  
約320メートル先の副標を照射



照射灯副標



対馬 長崎鼻灯台  
初点 昭和39年1月